平成 29 年度（2017 年度）金沢大学大学院法務研究科　入学試験問題
【Ｃ日程】法律専門科目試験

公法　出題の意図

問題１

本件の民法７３３条の規定は，女性についてのみ前婚の解消又は取消しの日から６箇月の再婚禁止期間を定めており，これによって，再婚をする際の要件に関し男性と女性とを区別しているから，このような区別をすることが事柄の性質に応じた合理的な根拠に基づくものと認められず、本件規定が憲法１４条１項に違反することになると解することになるのかについて論じることによって、憲法１４条１項が法の下の平等を定めており，この規定が，事柄の性質に応じた合理的な根拠に基づくものでない限り，法的な差別的取扱いを禁止する趣旨のものであることの理解を前提に、本件規定の立法目的と女性の再婚を制約することとの関連、立法裁量の範囲について検討することを求める出題である。

問題２

取消訴訟の原告適格に関する出題である。取消訴訟における原告適格の基本的な考え方をふまえたうえで、Ｘ１およびＸ２に原告適格が認められるかどうかを、根拠法令の規定および発生が予想される被害の具体的内容に照らして、具体的に検討することが求められる。

私法　出題の意図

問題１

利益相反行為、代理権濫用、民法 93 条ただし書類推適用に関する問題である。その論述により、民法上の重要な問題に関する基本的知識の修得度および論理的思考能力が試される。

問題２

支配権の異動を伴う募集株式の発行手続に瑕疵がある場合の当該募集株式発行の効力に関する問題である。その論述により、会社法上の重要な問題に関する基本的知識の修得度および論理的思考能力が試されることになる。

刑法　出題の意図

準強姦罪（刑法１７８条２項）にいう「抗拒不能」の意義を、問うものである。